

平成29年12月 鹿島市定例記者会見

日 時 平成29年12月18日(月) 13時30分～

場 所 市役所 3階 庁議室

1. 開 会

2. 市長の発言

- ・ 質疑応答

3. 市からのお知らせ

- ・ 企画財政課からのお知らせ(資料2-1)
(「地方創生と佐賀県の実情について」の講演のアンケート結果について)
- ・ 生涯学習課からのお知らせ(資料2-2)
(第64回(平成30年)鹿島市成人式について)
- ・ 市民課からのお知らせ(資料2-3)
(鹿島市誕生プレゼント事業の実施について)
- ・ 産業支援課からのお知らせ(資料2-4)
(東京都神田と福岡市で「鹿島フェア」開催について)

4. 団体等からのお知らせ

- ・ 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団からのお知らせ(資料3-1)

5. 行事のお知らせ

- ・ 別紙参照

6. 記者との意見交換

7. 閉 会

次回は1月定例記者会見

1月16日(火) 13時30分～

市役所 3階 庁議室

問合せ・連絡先 総務部企画財政課

TEL 0954-63-2114 松丸、峰松

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

企画財政課

件名	「地方創生と佐賀県の実情について」アンケート結果を公表します
アピールポイント	<p>高校卒業後、多くの若者が鹿島市或いは県外に流出している状況を踏まえ、平成29年10月～11月にかけて、杵藤地域に所在する高等学校（鹿島高等学校、鹿島実業高等学校、白石高等学校、塩田工業高等学校）の生徒1,451名に対し「日本における人口問題の現状や佐賀県の実情」のほか、郷土の素晴らしさや地元企業の能力の高さなどを中心に分かりやすく説明を行ってきました。今回生徒から提出されたアンケートの結果を取りまとめましたので公表します。</p>
説明	<p>(1)佐賀県立鹿島高等学校、佐賀県立白石高等学校については「日本における人口問題の現状や佐賀県の実情」の説明に加え、人口減少をイノベーションに変える重要性や2017年度政府の成長戦略である「未来投資2017」について説明を行いました。</p> <p>(2)佐賀県立鹿島実業高等学校、佐賀県立塩田工業高等学校については、「日本における人口問題の現状や佐賀県の実情」を簡単に説明し、多くの時間を鹿島市内に所在する企業の説明を行いました。</p> <p>(3)上記(1)の生徒からは「人口減でもGDPは上昇している。人口増も必要だが国民の質を上げる必要がある」「男性の家事、育児への参加が出生率に影響していることが分かった」「成長戦略の話に興味を湧いた」など意見があり、上記(2)の生徒からは「鹿島には世界にも通用するものづくりがあって驚いた」「地元に残って就職しようと思った」「地元愛が深まった」などの多くの意見が出されました。</p> <p>今回多くの生徒から人口減少の現状や地元企業の存在を知らなかったなどの声が多数聞かれました。今後も継続的にこのような講演を行っていき、子供たちに情報を伝えていくことで少しでも若者流出に歯止めがかかればと思っています。</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	企画財政課
氏名	納塚真琴
TEL	0954-63-2101
FAX	0954-63-2129
Mail	makoto-noutsuka@city.saga-kashima.lg.jp



地方創生と佐賀県の実情について

【鹿島高校・鹿島実業高校・白石高校・塩田工業高校】



アンケートの結果は以下のとおりでした

※受講者数1,451名と回答者数は必ずしも一致しない



1. 地方創生と佐賀県の実情について理解できましたか。

■ よく理解できた ■ 理解できた ■ あまり理解できなかった



2. 講演の資料は理解しやすかったですか。

■ 理解しやすかった ■ 理解しにくかった



3. 就職したい場所はどこですか。

■ 地元 ■ 地元または県内 ■ 県外 ■ その他



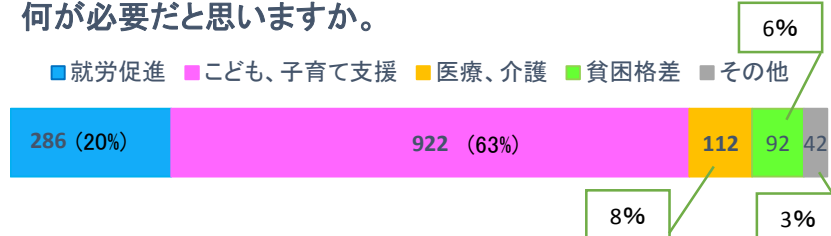
4. 自分の住む町に魅力を感じますか。

■ 感じる ■ 感じない ■ 分からない



5. 人口減少をストップするためには、何が重要だと思いますか。

■ 就労促進 ■ こども、子育て支援 ■ 医療、介護 ■ 貧困格差 ■ その他



生徒の声

鹿島高校

➢ AIなど第四次産業革命の講演は今後の人生でターニングポイントになり、最も大事な話だった

➢ 人口減でもGDPは上昇している。人口増も必要だが国民の質を全体的に上げるのが最重要ではないか

➢ 選挙権が18才になったことは、自分の一票が大きくかわるのだという気持ちで投票したい

鹿島実業高校

➢ 地元をもっと発展させていきたい。鹿島をもっと発展させていきたいと思った

➢ 地元を盛り上げる必要性を感じた。若い世代が意見をもち寄り話し合いたいと思った

➢ 男性の育児参加が女性の継続就業と関係していることを知った。男性も育児に積極的に参加してほしい

白石高校

➢ 大学の学校数が東京だけで17.6%あることに地方の人口減少の原因があるのではないかと思った

➢ 自分の県のことを初めて深く考える機会だった。講演後、地元で就職して働きたいと改めて思った

➢ 地方圏の人口減少に驚いた。県内で就職して地元を活気づけたいと思った

塩田工業

➢ 講演内容がとても良かった。地元の企業に就職するので貢献したい

➢ 地元の魅力について再認識でき、地元が活気づくように最大限努力しようと思った

➢ 地元には、世界中に通用する企業がたくさんあると思った



地方創生と佐賀県の実情について(11/17)

【佐賀県立鹿島高等学校】



アンケートの結果は以下のとおりでした

※受講者数560名と回答者数は必ずしも一致しない

1. 地方創生と佐賀県の実情について理解できましたか。



2. 講演の資料は理解しやすかったですか。



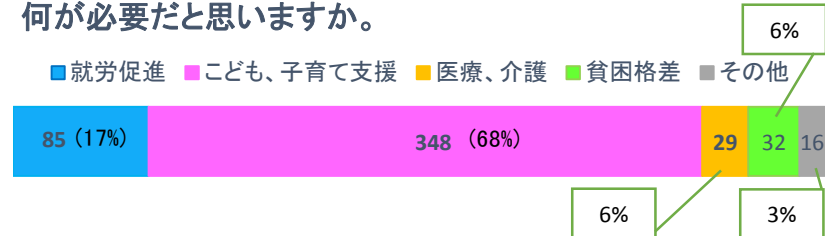
3. 就職したい場所はどこですか。



4. 自分の住む町に魅力を感じますか。



5. 人口減少をストップするためには、何が必要だと思いますか。



生徒の声

- > 過疎が進む佐賀に可能性があることを知り、自信が持てた。誇りに思い魅力を伝えていきたい
- > これまで日本が行ってきた海外への支援が、大震災では多くの海外から支援を受けたことに心を打たれた
- > 地元を早く離れたと思っていたが、講演を聞いて地元を活性化させたいと思った
- > 欠点も考え方次第では利点となることを知り、変化の激しい世界情勢の中で頭を使っていく必要性を学んだ
- > 人口減少や高齢化は、イノベーションを起こすことで経済を発展させることができることを理解した
- > 地元企業・日本企業の凄さを知り、将来の展開について誇りを持てるようになった
- > AIなど第四次産業革命で日本が抱える問題を解決出来ると知り、新しい日本に興味湧いた
- > 地元に興味を持つ重要さを改めて知り、今後自分たちに何が出来るかをよく考え、故郷のために頑張りたい
- > 環境悪化は人口過密も要因の一つ。それならば人口減少の進む日本をポジティブに考えていきたい
- > 人口減少＝マイナスなど暗いニュースが多いが、今日の講演は元気が出る内容ですごく面白かった
- > トップクラスの企業技術やハイレベルの教育を受けている我々日本は捨てたものではないと改めて実感
- > 地元の人気が今後大幅に減るという資料を見て危機感を抱き、地元に残る就職活動を展開して行きたい
- > イノベーションを起こすことで人口減少は克服できるとの講演で、希望が湧き、感銘を受けた
- > AIなど第四次産業革命の講演は今後の人生でターニングポイントになり、最も大事な話だった
- > 佐賀の情報や良さを発信していくことが社会・未来の発展につながるのではないかと思います
- > 人口減でもGDPは上昇している。人口増も必要だが国民の質を全体的に上げるのが最重要ではないか
- > 人口が減少してもEU諸国人口とあまり変わらない。それなら、人口減少の中、高齢者が増加している現状を活用し、国民ニーズに応えるようなイノベーションを行って行けばいい
- > 日本企業の能力は認めるが、過労死など多くの問題を抱える日本。家族の繋がりの希薄さや少子化問題がある中、本当に「豊かな国」とは何かを考えさせられた
- > 人口減少をピンチではなくチャンスと捉え、第四次産業に力を入れ地方から盛り上げていこうと思った
- > 人口減でも視点を変えることでプラスに転じると知り、梓にはまらない自由な発想で日本を盛り上げたい
- > 女性の有業率が高い佐賀。将来パートナーが働き続けることが出来るよう、サポートしたい
- > 選挙権が18才になったことは、自分の一票が大きくかわるのだという気持ちで投票したい



地方創生と鹿島市の実情について(10/19)

【佐賀県立鹿島実業高等学校】

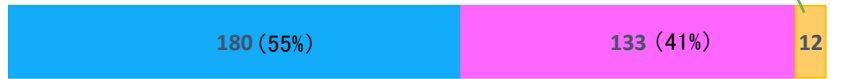


アンケートの結果は以下のとおりでした

※受講者数325名と回答者数は必ずしも一致しない

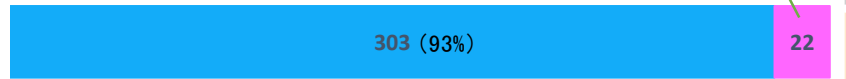
1. 地方創生と佐賀県の実情について理解できましたか。

■ よく理解できた ■ 理解できた ■ あまり理解できなかった



2. 講演の資料は理解しやすかったですか。

■ 理解しやすかった ■ 理解しにくかった



3. 就職したい場所はどこですか。

■ 地元 ■ 地元または県内 ■ 県外 ■ その他



4. 自分の住む町に魅力を感じますか。

■ 感じる ■ 感じない ■ 分からない



5. 人口減少をストップするためには、何が必要だと思いますか。

■ 就労促進 ■ こども、子育て支援 ■ 医療、介護 ■ 貧困格差 ■ その他



生徒の声

- > 地元をもっと発展させていきたい。鹿島をもっと発展させていきたいと思った
- > 世界と取引をしている企業が地元にあることを知り驚いた。鹿島の魅力を全国や世界の人にとって欲しい
- > 地元を盛り上げる必要性を感じた。若い世代が意見を持ち寄り話し合いたいと思った
- > 佐賀県は静かで住みやすいところ。佐賀県に色々な県から移住してほしい
- > 佐賀の魅力、佐賀のよさを感じた。地元に残って就職しようと思った
- > 日本の現状を改めて知った。人口減少や少子高齢化に対し一人ひとりが考える必要があると思った
- > 地元にはたくさんの魅力があることを知った。また世界に通用するものづくり企業があることを知り、誇りに思った
- > 男性の育児参加が女性の継続就業と関係していることを知った。男性も育児に積極的に参加してほしい
- > 世界に進出している企業が地元にあることを知ったが、東京の企業はもっと世界に進出している
- > 佐賀のよさが分かった。佐賀を出て就職しようと考えていたが、今日の講演で今一度考えてみようと思った
- > 地元が県外で就職するか悩んでいる。地元で働き地域の活性化を手伝うこともしてみたいと思った
- > 地元或いは佐賀の魅力を知り、恵まれているこの環境で過ごせていることに喜びを感じた
- > 就職は県外と思っていたが、講演を聞いて県内のために佐賀県で就職しようと思った
- > ものづくり企業が多い当市では、地元の学生等を多く採用している現状に感銘を受けた
- > 昭和22年当時と比較すると約半分の出生率となっており、100万人を下回っていることを知った
- > 大企業が日本を支えていると思っていたが、そうではなく中小企業が日本を支えていると初めて知った
- > 男性の育児参加が出生率に影響があることを知った。想像以上に地元には企業がたくさんあり、世界で貢献していることを知ったため、地元で就職を目指すこともよいと思った
- > 佐賀は他の県と比べて田舎だと思っている部分があったが、逆に佐賀の魅力を考える機会だった。そしてどのようにしたら佐賀を知ってもらえるか、変えられるかを考えるようになった
- > 他市に住む私は、自分の町の企業についてもっと勉強しようと思った
- > 市内企業の優秀さが伝わる良い講演だった。もう少し早く話を聞いていたら進路に役立てられた
- > 高校卒業後、福岡に出ようと思っていたが、佐賀県で就職を探してもいいなと思った
- > 佐賀に誇りを持つためには地元をもっと知る必要がある。地元のよさを学び、改めて好きになった



地方創生と佐賀県の実情について(10/18)

【佐賀県立白石高等学校】



アンケートの結果は以下のとおりでした

※受講者数465名と回答者数は必ずしも一致しない



生徒の声

- > 日本独自の文化と技術を後世へ残すため、地方の活性化を行うべきだと思った
- > 相手の立場に立って考えることが大切。そうすれば思いやり、気遣いが出来るようになるという言葉に感動
- > 日本の素晴らしさ、気づかなかった地方の魅力やマイナス部分に気づくことで地元で働きたいと思うのでは
- > 人口減少は空き家の増加や、学校の統合に繋がるなど、見えないところで影響を受けることが分かった
- > 都会で就職するのは悪いことではないが、自分が過ごしてきた地域への貢献も少し頭においておきたい
- > 自分の県のことを初めて深く考える機会だった。講演後、地元で就職して働きたいなど改めて思った
- > 東京に国内人口の1/4も集まっている一方、出生率は、東京が最下位であるなど初めて聞く内容だった
- > 地域を良く知ることができた。また、地元のことについて知っていることが少ないことに気づいた
- > 将来の夢が保育士で、少子化問題は関わりのあることだったので、とても良い機会だった
- > 日本の人口の動き、佐賀の人口の動きのほか、東京は世界で稀な超過密地域だということも分かった
- > 人口増減の変化を知り、私に出来ることは少ないが、何をすべきか、何が出来るかを考える機会だった
- > 地方圏の人口減少に驚いた。県内で就職して地元を活気づけたいと思った
- > 女性が産む子どもの数が、二人満たないということは、何が問題かを改善していかなければならない
- > 日本人は世界で賞賛される人が多いので、日本人が素晴らしいということが分かった
- > 日本には、観光、科学技術、医療、農業という優れた経済面もあることが分かった
- > 初婚年齢や出産の年齢が高いのは働く女性が増えてきているからだと思う
- > 現役世代一人が高齢者一人を支えなければならなくなると分かった。一方、人口減少が必ずしも日本の経済収縮に繋がるわけでもないことを理解した
- > 日本は、海外の支援を必要としている国にたくさん支援してきている。その結果、東日本大震災でも支援をもらえたと知り、助け合うことの大切さを改めて感じた
- > 日本の素晴らしさを再確認すれば、人口減少など日本の危機に対応できるかも知れない
- > 一番印象に残ったのは、日本人男性が家事、育児への参加が消極的だということ
- > 子供の出生率が低下することは、様々な部分に影響が出ることを知った
- > 大学の学校数が東京だけで17.6%あることに地方の人口減少の原因があるのではないかと思った

1. 地方創生と佐賀県の実情について理解できましたか。

■ よく理解できた ■ 理解できた ■ あまり理解できなかった

5%

127 (29%)

289 (66%)

23

2. 講演の資料は理解しやすかったですか。

■ 理解しやすかった ■ 理解しにくかった

7%

403 (93%)

30

3. 就職したい場所はどこですか。

■ 地元 ■ 地元または県内 ■ 県外 ■ その他

6%

46 (10%)

216 (49%)

154 (35%)

24

4. 自分の住む町に魅力を感じますか。

■ 感じる ■ 感じない ■ 分からない

258 (59%)

48 (11%)

131 (30%)

5. 人口減少をストップするためには、何が必要だと思いますか。

■ 就労促進 ■ こども、子育て支援 ■ 医療、介護 ■ 貧困格差 ■ その他

8%

3%

90 (19%)

278 (59%)

52 (11%)

40

16



地方創生と佐賀県の実情について(10/31)

【佐賀県立塩田工業高等学校】



アンケートの結果は以下のとおりでした

※受講者数101名と回答者数は必ずしも一致しない



生徒の声

<ul style="list-style-type: none"> > 夫の育児へ参加する時間が、出生率や妻の継続就業に関係しており興味深いと思った 	<ul style="list-style-type: none"> > 少子化が進んでいることが改めてわかった
<ul style="list-style-type: none"> > 佐賀県の実情や県内の企業を詳しく知ることができた 	<ul style="list-style-type: none"> > しっかり佐賀のことを知ることができた
<ul style="list-style-type: none"> > 夫が育児や家事に参加する時間が長ければ長いほど、出生率が高くなることがわかった 	<ul style="list-style-type: none"> > 今回の講演は自分のためにもとても役に立つことだと思った
<ul style="list-style-type: none"> > 佐賀県の転出などが、福岡に集中していることが分かった 	<ul style="list-style-type: none"> > 全国比で九州の出生率が高いことに驚いた。夫の家事、育児時間が世界と比較して少ないことが分かった
<ul style="list-style-type: none"> > 地元には、世界中に通用する企業がたくさんあると思った 	<ul style="list-style-type: none"> > たとえ中小企業でも大きく世界に貢献しているんだなと思った
<ul style="list-style-type: none"> > 難しい話だったのでよく分からなかったところもあるが、地元にも大きな会社があるということが分かった 	<ul style="list-style-type: none"> > 地元の魅力について再認識でき、地元が活気づくように最大限努力しようと思った
<ul style="list-style-type: none"> > 地元の企業や魅力に対して、改めて考えることができた 	<ul style="list-style-type: none"> > 講演内容がとても良かった。地元の企業に就職するので貢献したい
<ul style="list-style-type: none"> > 郷土の価値を改めて再認識でき、自分にとっては、勉強となった講演だった 	<ul style="list-style-type: none"> > いろんなことを理解しながら学ぶことができた
<ul style="list-style-type: none"> > 佐賀県は他県にはない良いところはあると思うが、若者が惹かれるような企業がもっと増えれば現状が少しでも変わっていくと思う 	<ul style="list-style-type: none"> > 地元企業の世界への活躍を改めて知ることができた。少子化問題についても、改めて考えることができたので、将来のために活かしていきたいと思った
<ul style="list-style-type: none"> > 地元について考えなくてはいけないと思った 	<ul style="list-style-type: none"> > 地元である当市を大切にしたいと思った
<ul style="list-style-type: none"> > 地方創生について関心ももてた 	<ul style="list-style-type: none"> > 今回の講演で佐賀のことについて色々知識を増やせた

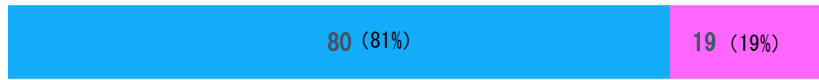
1. 地方創生と佐賀県の実情について理解できましたか。

■よく理解できた ■理解できた ■あまり理解できなかった



2. 講演の資料は理解しやすかったですか。

■理解しやすかった ■理解しにくかった



3. 就職したい場所はどこですか。

■地元 ■地元または県内 ■県外 ■その他



4. 自分の住む町に魅力を感じますか。

■感じる ■感じない ■分からない



5. 人口減少をストップするためには何が重要だと思いますか

■就労促進 ■子ども、子育て支援 ■医療、介護 ■貧困格差 ■その他



佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名

生涯学習課

件名	第64回（平成30年）鹿島市成人式
アピールポイント	「国民の祝日」としての「成人の日」は、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことをねらいとして定められている。鹿島市成人式は1月7日（日曜日）の成人の日の前日に開催し、鹿島市全体で新成人をお祝いし、「ふるさと鹿島」に対する郷土愛を高め、共に喜びを分かち合えるような成人式にしたい。
説明	<p>1. 日時 平成30年1月7日（日） 13:00～受付開始 14:00～開式</p> <p>2. 主催 鹿島市・鹿島市教育委員会</p> <p>3. 会場 鹿島市民会館 大ホール</p> <p>4. 対象者 平成9年4月2日から平成10年4月1日に生まれた市内に居住する者、及び鹿島市での成人式参加を希望する者。 ※対象者362人（12/7現在）</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	生涯学習課 社会教育・文化係
氏名	係長 伊東 寿
TEL	0954-63-2125
FAX	0954-63-2129
Mail	shougai09@city.saga-kashima.lg.jp

第64回 鹿島市成人式実施要項

1. 趣旨 「国民の祝日」としての「成人の日」は、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことをねらいとして定められている。この「成人の日」に、鹿島市全体で新成人をお祝いし、「ふるさと鹿島」に対する郷土愛を高め、共に喜びを分かち合えるような成人式にしたい。(ただし、開催日は「成人の日」の前日の日曜日に実施する。)
2. 日時 平成30年1月7日(日)
13:00~受付開始
14:00~開式
3. 主催 鹿島市・鹿島市教育委員会
4. 会場 鹿島市民会館 大ホール
鹿島市大字納富分2643-1 TEL:0954-63-2105
5. 対象者 平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた市内に居住する者、及び鹿島市での成人式参加を希望する者。
6. 内容

第1部	記念式典	
	開式の言葉	鹿島市教育長
	国歌斉唱	
	鹿島市民の歌斉唱	
	鹿島市民憲章宣言	
	市長式辞	鹿島市長
	記念品贈呈	鹿島市副市長
	来賓の祝辞	
	来賓の紹介	
	祝電披露	
	新成人決意の言葉	
	閉式の言葉	鹿島市教育次長
第2部	スライドショー	
	小学校、中学校卒業時写真のスライドショーを行なう。スライドショー終了後に、恩師に登壇してもらい、一言ずつ祝辞をもらう。	
第3部	記念撮影	写真組合
7. その他 聴覚のご不自由な方のために、手話通訳を設ける。

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名

市民課

件名	鹿島市誕生プレゼント事業の実施について
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月1日以降に生まれた新生児に、「鹿島市誕生プレゼント」として鹿島市産の木材(ひのき)を使ったフォトフレームを佐賀西信用組合(理事長:栢森 久)様のご寄付により、出生届提出時に市民課窓口でプレゼントします。
説明	<p>事業概要・・・鹿島市に誕生された新生児に、鹿島市産の木材(ひのき)を使用したフォトフレームを佐賀西信用組合(理事長:栢森 久)様のご寄付によりプレゼントします。</p> <p>1. プレゼントを受けられる方 次のいずれの要件にも該当する方が対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生したお子様の父又は母が、お子様の出生の日において鹿島市に住民登録をされていること。 ・出生したお子様が鹿島市に住民登録をされること。 ・平成30年1月1日以降に生まれたお子様を対象とする。 <p>2. プレゼントの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象児1名につき、1個のフォトフレームをプレゼントする。 ・フォトフレームの裏面に、お子様の「お名前」、「生年月日」を記入できるカードを貼り付ける。 <p>3. 誕生プレゼント贈呈式・・・平成30年1月26日(金)10時～(市民ホールにて)</p>
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	市民部 市民課
氏名	梶山照之
TEL	0954-63-2117
FAX	0954-63-2128
Mail	shiminka@city.saga-kashima.lg.jp

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名 産業部産業支援課

件名	1月に東京都と福岡市で「鹿島フェア」を開催します
アピールポイント	<p>平成30年1月に、東京都内と福岡市内の飲食店で「鹿島フェア」を開催します。</p> <p>期間中は、鹿島から取り寄せた農産物・海産物を使った料理や、地酒（日本酒）を提供します。また店内では、物産の販売や観光PR等も行ないます。</p> <p>東京都内在住者、福岡都市圏在住者はもちろんのこと、観光客や日本酒ファンに向けて、鹿島の魅力をPRします。</p>
説明	<p>《東京都》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催場所 「全国うまいものサロンなみへい」(JR神田駅から徒歩3分) 東京都中央区日本橋本石町4-2-6 神田GMビル1階 ●開催日時 平成30年1月5日(金)～1月31日(水) ※鹿島PRイベント 1月13日(土)18:00～21:00 <p>《福岡市》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催場所 「九州郷土料理 わらび」(JR博多駅から徒歩6分) 福岡市博多区博多駅前2-7-3 ●開催日時 平成30年1月11日(木)～1月31日(水) ※鹿島フェアは今年度2回目の開催となります。 <p>《内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①鹿島産の農産物・海産物を使った料理の提供 ②鹿島市内6蔵の日本酒の提供 ③鹿島の特産品販売 ④鹿島の観光・ふるさと納税などのPR
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	産業部産業支援課
氏名	産業支援係長 江島賢一(内線231)
TEL	0954-63-3411
FAX	0954-63-2313
Mail	sangyo@city.saga-kashima.lg.jp

平成30年1月開催の「鹿島フェア」について

・「全国うまいもの交流サロン なみへい」

場所 東京都 神田

期日 平成30年1月5日（金）～1月31日（水）

※鹿島PRイベント 1月13日（土）18：00～

※期間中は、地域食材を使ったスペシャルコース3,800円（税込）
その他、アラカルトメニュー、地酒（日本酒など）も提供されます。

・「九州郷土料理 わらび」

場所 福岡市 博多駅前

期日 平成30年1月11日（木）～1月31日（水）

※今年度2回目の鹿島フェア開催

[わらびHPより抜粋]

☆またまたやります！**鹿島フェア**

期間：2018年1月11日～31日（予定）

鹿島全6蔵のお酒を取り揃えます！

新酒の美味しい季節です♡どんなお酒が集まるか、とっても楽しみです♪

さらに！

郷土料理・名物料理はもちろんのこと、

鹿島の海の幸・山の幸を使ったオリジナル料理もご用意致します！

前回は7月に行った際は、美味しい夏野菜を使った料理が人気でしたが

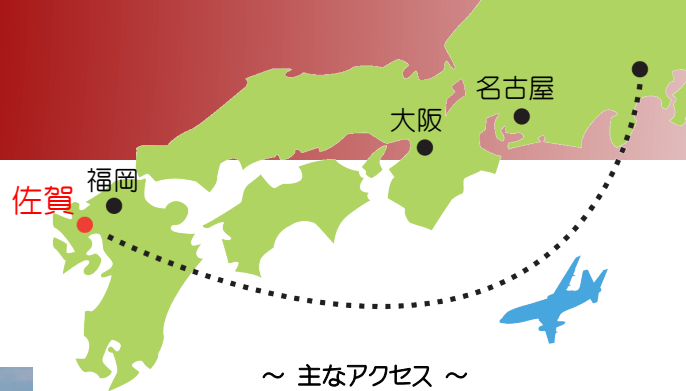
今回は1月、冬真ただ中ですので、冬ならではの温かいメニューも新登場します♪

夏も冬も楽しめる、鹿島の魅力を存分にお届けいたします！！



佐賀県 鹿島市

鹿島市は、人口約3万人。佐賀県の西南部に位置し、広大な干潟が広がる有明海と、県内最高峰の多良岳山系に囲まれた、自然豊かな地方都市です。九州の中核都市、福岡市からはJRで約1時間の距離にあります。



～主なアクセス～

- 東京→福岡(博多) 飛行機(1時間40分) / 新幹線(5時間)
- 東京→佐賀 飛行機(1時間40分)
- 福岡(博多)→鹿島 JR(1時間) / 高速道路(1時間30分)
- 佐賀空港→鹿島 リムジンタクシー(片道1500円・50分)
- 佐賀市→鹿島 JR(20分) / 車(50分)



たくさんの魅力が満載の鹿島市へようこそ!



鹿島市は、日本三大稲荷 祐徳稲荷神社のおひざ元。有明海の干潟を舞台に繰り広げられる「ガタリンピック」が全国的に有名です。世界一の日本酒を育んだ酒蔵のまちでもあり、全国に先駆けて、酒蔵を通じた町おこし「酒蔵ツーリズム®」にも取り組んでいます。

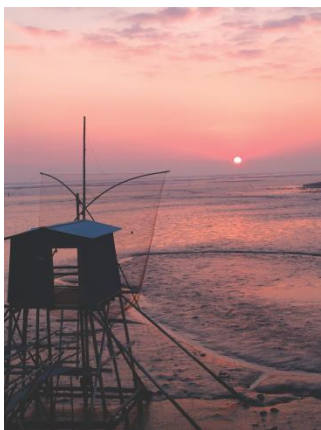


おもな観光地と特産品



【祐徳稲荷神社】

年間約300万人が訪れる、日本三大稲荷の一つ。山肌に建つ朱塗り極彩色の、壮麗な社殿が特徴です。佐賀県を代表する人気の観光地です。



【有明海の干潟】

日本一の干満差(6m)を誇り、干潮時には見渡す限り広大な泥の干潟が広がります。ムツゴロウをはじめ、有明海特有の生き物の宝庫です。



【肥前浜宿 酒蔵通り】

伝統的な町並みが残る、長崎街道沿いの宿場町。白壁土蔵や茅葺きの町屋が特徴です。最盛期には十数軒の酒蔵が立ち並んでいました。

日本酒・みかん・海苔・有明海料理など、大自然の宝庫である多良岳山系と、有明海の恵みを受けた、美味しいものがたくさんあります。



←鹿島市 PR 動画



←鹿島市 公式 HP

問合せ・連絡先

鹿島市 産業部 産業支援課 ☎0954-63-3411
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分 2643-1



佐賀県 鹿島市



1月の特産品メニュー

2018年1月5日から1月31日まで

福頭(ふくがしら)

佐賀県でしか栽培されていない「里芋」です。標準で約600グラム、大きいもので1キロにもなります。

肉質はやや粉質でち密なので煮崩れしにくいですが、甘味が強く、ホクホクとした食感が人気です。

また、カリウムが多く、筋肉の動きを良くするほか、高血圧予防に効果があるとされています。

「福頭」という縁起の良い名前も年初めにぴったりです。



岩永さん家のミニトマト

有明海と大地の恵みがいっぱい！！

ミネラルを多く含んだ土地で栽培された健康的なトマトです。酸味は胃液の分泌を促進し、食欲を増進させます。

生産者である岩永さんは2016年に農林水産大臣賞を受賞されました。

赤(こすず)・ピンク(ピンキー)・黄(イエローミミ)・緑(サングリーンなど)・紫(トスカーナバイオレット)とカラフルでそれぞれに食感や味に特長があります。

前海(まえうみ)もん

鹿島市は有明海に面しており、有明海は日本一の干満差(6m)を誇り、干潮時には見渡す限りの広大な干潟が広がります。

そこを棲みかとする魚たちを「前海(まえうみ)もん」と呼んでいます。旬の前海もん(今回は芝エビ(真エビ)、シラタエビ(サザレ)、アミ等)をぜひご賞味ください。



あやめ雪かぶ&もみじスティック

土作りに徹底的にこだわり、農薬や化学肥料を使わない野菜づくりをされている「松本農園」さんから紫と白のグラデーションが美しく、甘くてやわらかい『あやめ雪かぶ』と、皮も果肉も真っ赤で、甘くてジューシーな大根『もみじスティック』をお届けします。どちらもアントシアニンが含まれています。



←鹿島市 PR 動画



←鹿島市 公式 HP

問合せ・連絡先

鹿島市 産業部 産業支援課 ☎0954-63-3411

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分 2643-1

12月定例記者会見チラシ類

第10回えいぶる事業

1. **清和文楽 人形浄瑠璃芝居**

2. **としょかんのクリスマス会**

～人形劇団いちごじゃむがやってくる～

3. **としょかん「福袋」を貸出します**



清和文楽

人形浄瑠璃芝居

演目

ことぶきしきさんばんそう
寿式三番叟

けいせいあわなると
傾城阿波の鳴門

山里に伝わる
百六十四年の夢物語

「清和文楽」は熊本県重要無形文化財。
太夫・三味線・人形が一体となった
総合芸術をお楽しみ下さい。

平成30年

1/21日

鹿島市生涯学習センター エイブルホール 開演 14:00(開場 13:30)

前売券
全席自由

■大人(一般) 1,500円 ■大人(エイブル倶楽部会員) 1,000円
■高校生以下(一般・エイブル倶楽部会員) 500円 ※当日券 各500円増し
※3歳未満の入場・同伴不可 託児あり ※申し込みメ切り 1/8(月・祝)
※車いす席あり。事前にお申込みください。

チケット発売日

12/2(土) ※販売時間はプレイガイドにより異なります。
※前売で完売の場合、当日券の販売はありません。

人形解説
もあります

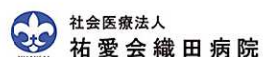
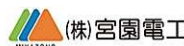
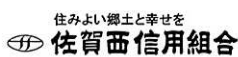
プレイガイド

鹿島市生涯学習センター・エイブル2階、ピオ、ララベル、モリナガ鹿島店、ゆめタウン武雄、
有明スカイパークふれあい郷、佐賀市文化会館、嬉野市社会文化会館「リバティ」

主催／一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
後援／鹿島市、鹿島市教育委員会、佐賀新聞社、
NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ佐賀、
エフエム佐賀、株式会社ネット鹿島 (順不同)

お問合せ／一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
鹿島市生涯学習センターエイブル2階
Tel 0954-63-2138 <http://kashima-able.com/>

【エイブルパートナー】
私たちはエイブル倶楽部を
応援しています。



としょかんのクリスマス会

にんぎょうげきだん

人形劇団いちごじゃむが やってくる!!!

かつ にち と ご こ じ じ
12月23日(土)午後2時~3時
えいぶる かい る - む
エイブル1階いきいきルーム

サンタが
プレゼントを
もってくるよ♡

おりょう
無料です。

もう こ
申し込みはいりません。

みんな、きてね!

かしましみんとしょかん
でんわ (0954) 63-4343

110袋限定!!

としょかん

福袋

を貸出します!!



鹿島市民図書館では、平成30年開館初日の

1月4日(木) 13時より、



図書館員が選んだ本3冊が入った「としょかん福袋」を、

貸出いたします!!何が入っているかは・・・借りてからの
お楽しみ! ステキなおまけも入っています♥♥♥

<注意> 図書館カードを持って来てください。



鹿島市民図書館



佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



主な行事予定（12月）

1 / 2 枚

No.1

日時 12月20日（水）

場所 議場

件名 市議会12月定例会 閉会日

内容 委員会報告、議案審議、質疑、討論、採決、閉会

問合先 議会事務局

電話 0954-63-2104

No.2

日時 12月28日（木）16:00

場所 市役所 5階 大会議室

件名 執務納め式

内容

問合先 総務課 職員係

電話 0954-63-2112

No.3

日時 12月28日（木）～30日（土）

場所 市内一円

件名 鹿島市消防団年末警戒

内容

問合先 総務課防災係

電話 0954-63-2112

No.4

日時

場所

件名

内容

問合先

電話

No.5

日時

場所

件名

内容

問合先

電話

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



主な行事予定（1月）

2 / 2 枚

No.1			
日時	1月4日（木） 9：00～	場所	市役所 5階 大会議室
件名	執務始め式		
内容			
問合せ先	総務課 職員係	電話	0954-63-2112

No.2			
日時	1月6日（土） 9：00～	場所	中川グラウンド
件名	鹿島市消防出初式		
内容	鹿島市消防出初式を行います		
問合せ先	総務課 防災係	電話	0954-63-2112

No.3			
日時	1月7日（日） 14：00～	場所	鹿島市民会館 大ホール
件名	鹿島市成人式		
内容	今年で64回目の成人式		
問合せ先	生涯学習課	電話	0954-63-2125

No.4			
日時	1月19日（金） 早朝	場所	浜町酒蔵通り
件名	ふな市（二十日正月に出す郷土料理「ふなんこぐい」の材料「鮎」を売る市）		
内容	もちまき、ふなんこぐい試食、保育園児によるマチグ、一声浮立、うどん販売		
問合せ先	浜公民館	電話	0954-62-2534

No.5			
日時	1月27日（土）・28日（日）	場所	蟻尾山公園（陸上競技場、クロカンコース）
件名	クロカンフェスタ in かしま		
内容	27日小学生駅伝 28日中学生・一般駅伝		
問合せ先	鹿島市体育協会	電話	0954-62-3379